

琉球船と首里・那覇を描いた絵画史料研究会 編

琉球船と首里・那覇を描いた 絵画史料研究

▶ B4判上製・180頁

本体：定価 18,500円

ISBN: 978-4-7842-1947-6

【2019年2月刊行】

大型図版で近世琉球の姿が

色鮮やかによみがえる

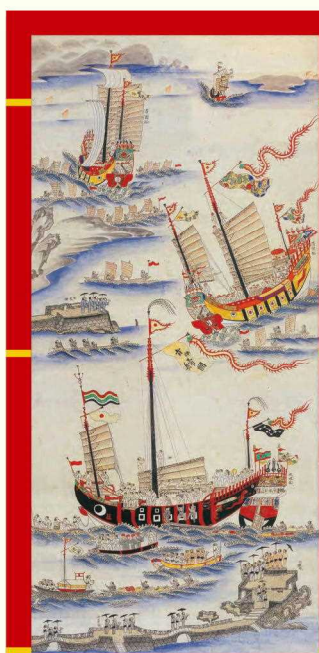
第二尚氏時代から明治時代前期（一八〇一～一九世紀）にかけての、琉球の船と首里・那覇の景観を描いた絵画史料を集成。

関係史料を可能な限り広範囲に収集し、計六五点を大型カラー図版で掲載。従来の図録や書籍では観察が困難だった細部の考察や史料間の比較を可能とした。

収録図版には、最新の研究成果により解説を加えるほか、琉球史、対外交流史研究に携わる執筆者による一〇本の論考を収録。さらに、古地図・古写真・落款をモノクロで掲載する。

これからの琉球史研究の水準を格段に引き上げる基礎的史料集。

琉球船と首里・那覇を 描いた絵画史料研究



図版

◇目次◇

- 一 琉球船
 - 二 首里・那覇
 - 三 首里城
 - 四 那覇港
 - 五 薩摩
 - 六 中国
- 参考図版
収録史料落款一覧

図版解説

論文

- 進貢船の意匠と航海信仰
絵図に描かれた首里について
首里・那覇を描いた絵画史料について
――系統分類の試み
首里城と那覇港を描いた五つの屏風について
文化財としての首里・那覇港図
琉球絵画と首里・那覇港図の成立
那覇港及び周辺施設の変遷
首里・那覇港図屏風にみる
漂着民・薩摩役人・民衆
塩の生産と民衆生活史の一面
「奉使琉球図巻」および
その筆者、朱鶴年をめぐる
橋本 雄
- 荒木和憲
鈴木 悠
藤田 励夫
津波古聡
地主智彦
平川信幸
外間政明
豊見山和行
真栄平房昭

参考文献目録／収録史料目録

思文閣出版

〒605-0089 京都市東山区元町355 tel. 075-533-6860 fax. 075-531-0009
https://www.shibunkaku.co.jp E-mail: pub@shibunkaku.co.jp

注 文 票		発 行 : 思 文 閣 出 版		(京 都 取 引 コ ー ド 3402)	
冊 数	冊	琉球船と首里・那覇を描いた絵画史料研究		本体18,500円 (税別)	IBN978-4-7842-1964-3
お 名 前				tel	
				e-mail	
ご 住 所	〒				
送本方法	代引 (書籍代+消費税+送料600円を現品と引き替えにお支払い、代引手数料は弊社負担)				
	◎ 最寄りの書店・ネット書店でもお買い求め、お取り寄せできます ◎				

朱印船貿易絵図の研究

菊池誠一編

17世紀の日本と東南アジアの交易や、ベトナムの港町ホイアンに存在した「日本町」の様子を描いた2つの絵図、名古屋市情妙寺所蔵「茶屋交趾貿易渡海絵図」と、新出史料である九州国立博物館所蔵「朱印船交趾渡航図巻」。この2つの絵図の精彩なカラー図版にくわえ、美術史・歴史学および考古学など多彩な研究者による6篇の論考を収録。
現地ホイアンでの考古学調査の成果と絵図に描かれた「日本町」を比較するなど、2つの朱印船貿易絵図を多角的に分析する。

▶A4判横綴・104頁／本体 7,800円(税別) ISBN978-4-7842-1712-0

対外関係と文化交流 [オンデマンド版]

田中健夫著

中世日本の東アジアへの対応、足利義満の外交の特質、勘合制度の実態と性格、琉球王国の国際的位置、島津氏と琉球との関係、さらに近代に及ぶ対馬の藩政と朝鮮修好との関係など、中世から近世に至る日本の東アジアを中心とした対外関係と文化交流に光をあてる。史料として16世紀の対馬宗氏の二史料を収録。(2版1991年)

▶A5判・690頁／本体 13,800円(税別) ISBN978-4-7842-7009-5

近世中国朝鮮交渉史の研究

松浦章著

近世中国と朝鮮国との交渉について、朝鮮から北京に赴いた赴京使による定期的な外交交渉と、漂着船や交易船による不定期な海を介した交渉の両面から考察する。付録として、天理大学附属天理図書館蔵の「漂人間答」を全文影印掲載。

▶A5判・328頁／本体 6,000円(税別) ISBN978-4-7842-1709-0

大航海時代の日本と金属交易

別府大学文化財研究所企画シリーズ③

平尾良光・飯沼賢司・村井章介編

最新の鉛同位体比分析の成果から、日本の銅生産や中世～近世日本の金属流通のありよう、南蛮貿易の意義などに新たな視角を提示する。巻末に戦国時代関連資料の鉛同位体比一覧を掲載。

▶B5判・224頁／本体 3,500円(税別) ISBN978-4-7842-1768-7

日蘭交渉史の研究

金井圓著

思文閣史学叢書

三浦按針を乗せたリーフデ号の漂着から、徳川鎖国・オランダ東インド会社の解散・外国船打払令を経て、開国に至る二世紀半の対外関係史の要をなす日蘭交渉史の知られざる諸局面を、主として在外未刊行史料に基づき実証する論考13篇に、通史・史料を添える。

▶A5判・500頁／本体 8,500円(税別) ISBN4-7842-0446-6

漂流記録と漂流体験

倉地克直著

漂流体験は、奉行所や藩の公式記録にとどまらず、民間でも記録されてきた。1830年に太平洋上を漂流した神力丸の漂流記録を比較検討し、漂流記録の史料価値についてひとつの試論を示す。さらに記録を通して漂流体験を再現し、漂流民の異国認識や異国交流の実態を探る。史料篇では神力丸漂流事件の典型的な記録を翻刻。

▶A5判・352頁／本体 7,500円(税別) ISBN4-7842-1225-6

風俗絵画の文化学Ⅱ 虚実をうつす機知

松本郁代・出光佐千子・彬子女王編

風俗絵画とは虚実をうつす機知の媒体である一美術史・歴史学・文学・文化人類学等を専門とする研究者が、それぞれの専門性を生かした風俗絵画分析を進め、粘り強く議論を繰り返して生まれた学際的文化研究。絵画の制作に関わった人々の複雑に絡み合う視線の交錯を文化的に考察し、そこにあらわれた「機知」を明らかにしていく15篇。

▶A5判・450頁／本体 7,000円(税別) ISBN978-4-7842-1615-4

南蛮・紅毛・唐人 一六・一七世紀の東アジア海域 中島楽章編

16～17世紀の東アジア海域は、多様なエスニシティをもつ人々が混在し、彼らの活動を通じて、モノやヒト、文化や情報が海を渡り運ばれてきた。本書は「南蛮」「紅毛」「唐人」、そして彼らと接した「倭人」たちが残した証言を、さまざまな視角から多面的に論じることにより、東アジア海域における「紛争と交易の時代」のダイナミズムを描き出す。

▶A5判・418頁／本体 6,800円(税別) ISBN978-4-7842-1681-9

※近世東アジア海域の文化交流

松浦章著

海によって隔てられた東アジア諸地域間の交流は、波濤を越えた船の往来によって支えられていた。本書は清代帆船やその後に登場した汽船に乗って海を渡った人・物・書籍や文化をとりあげ、中国・日本・朝鮮・琉球などの人々の交流の諸相を明らかにする。

▶A5判・472頁／本体 9,000円(税別) ISBN978-4-7842-1538-6

江戸時代唐船による日中文化交流

松浦章著

[オンデマンド版]

江戸時代、長崎を窓口とした「唐船」による通商関係は、舶来文化受容において重要な役割を果たす。本書は日中双方の史料を用いることで、日本側からの視点のみから論じられることの多い長崎貿易の一面を多面的に論じる。長年この分野に取り組んできた著者の成果をまとめた論集。(初版2007年)

▶A5判・474頁／本体 9,800円(税別) ISBN978-4-7842-7011-8

朝鮮通信使の研究

李元植著

江戸時代、日本と朝鮮の善隣外交において、その根幹をなしていた朝鮮通信使一彼らが訪日して果たした重要な役割を、政治外交と文化交流の両側面から捉える。数多くの貴重な文献・史料を検証し、交歓の実態を明らかにすると同時に、両国文化の異同・相互の認識と理解、そして筆談唱和のもつ意義とその影響について究明する。

▶A5判・736頁／本体 15,000円(税別) ISBN4-7842-0863-1

※東アジア経済史研究 第一集

中国・韓国・日本・琉球の交流

大阪経済大学日本経済史研究所編

【内容】漢代財政監督に関する研究／中国漢民族居住地域における宗族集住の地域差／近世日本中国朝鮮における貨幣経済化比較史試論／砂糖菓子からみた近世日中間の境界領域／近代日清関係の形成／ミシンのグローバル性と東アジアの衣服産業 他

▶A5判・344頁／本体 4,000円(税別) ISBN978-4-7842-1498-3

※戦国大名の外交と都市・流通

鹿毛敏夫著

思文閣史学叢書 豊後大友氏と東アジア世界

西日本の戦国大名のアジア外交の実態とそこに潜む意識構造について解明するとともに、政治・経済・文化的にアジア諸国と緊密な関係にあった西国大名による都市・流通政策の実態を明らかにする。

【内容】戦国大名館の建設と都市／戦国大名大友氏の蔵経営／中世豊後府内の祇園会と大友氏／中世の川と水運・治水 他

▶A5判・300頁／本体 5,500円(税別) ISBN4-7842-1286-8

東アジアの本草と博物学の世界 [全2巻]

山田慶兒編

18世紀、日本で遭遇した東の本草学と西の博物学。それらにおける知的冒険の展開を、学問・産業・芸術のような分野への影響を含めて、多角的に考察した21篇。国際日本文化研究センターでの共同研究の成果。

上巻▶A5判・364頁／本体 7,500円(税別) ISBN4-7842-0883-6

下巻▶A5判・376頁／本体 7,500円(税別) ISBN4-7842-0885-2

風俗絵画の文化学Ⅲ 瞬時をうつすフィロソフィー

松本郁代・出光佐千子・彬子女王編

風俗画の歴史的な実証に留まらず、描かれた事象に織り交ざる虚実を読み解くことで、鑑賞されることを意識した美的な演出や、儀礼や慣習から生じた絵の上での約束事や仕掛け、信仰のイメージや地域に根ざした特殊な世界観などといった、人間の営為そのものの原理を探究する、哲学的思考(フィロソフィー)へと解釈を広げた13篇。

▶A5判・434頁／本体 7,000円(税別) ISBN978-4-7842-1775-5

インタビュー・エッセイや新刊情報を掲載した広報誌『鴨東通信』を年2回無料でお送りしています。
電話・fax・Eメールでお申し込み下さい。※印の書籍は外函・カバーに汚れ・傷みがごさいます。